



豊東小だより

令和4年4月28日 5月号

練馬区立豊玉東小学校

校長 吉井 広明

居場所

校長 吉井 広明

私が30代の頃、同学年を組んだ若い先生がいました。その先生は、放課後になると毎日教室を掃いていました。私は、子供たちも掃除をしているのでそれなりにきれいな教室なのになぜ毎日掃除をするのか尋ねました。すると彼は、「教室は自分の居場所です。居場所だから自宅のリビングルームみたいに居心地のよい場所にしたいんです。」と答えたのです。その言葉に感じるどころがあったので、掃除の時間以外に掃除をするという考えを全く持ち合わせていなかった私も、試しに自分の教室を掃除してみました。教室はきれいになる上に、気分も落ち着くなど想像以上の効果が得られたので、その日から放課後の掃除は私の日課になりました。彼は「居場所」や「居場所作り」という言葉をよく口にしており、その言葉が今も心に残っています。

進学・進級とともにクラス替えがあり、子供たちは新しい人間関係作りを始めています。仲良しの友達と同じクラスになったり、新しい友達ができたりした子供もいるでしょう。それとは逆に、仲良しの友達と別なクラスになってしまい、新しい友達作りもうまくいっていない子供もいると思います。まだ、4月が終わったばかりなので慌てる必要はありません。これからじっくりと友達作りをしていけばよいと思います。席替えや給食の時間の会話を通して人間関係が深まることもあるのですが、今は新型ウィルスへの対応で給食の時間は十分なコミュニケーションをとることができません。5月は気候も過ごしやすく爽やかな季節である一方で「5月病」という言葉があるように心身の疲れが出やすい時期でもあります。学校でも、子供たちの人間関係作りへの取組を意図的に行い、学校や教室に子供たちの居場所ができるようにしていきます。しかし、子供たちにとって一番心が安まり、素の自分に戻れる場所は家庭です。家での様子を見て「もう〇年生なのに」とか「〇〇さんに比べてうちの子は…」と思うこともあると思いますが、学校で子供たちはみんなそれぞれ頑張っています。その反動が出ているのかも知れませんが。家でのリラックスの時間があるから子供たちは学校で頑張れるのだと思います。5月は連休もあるので子供たちとゆっくり過ごす時間を大切にしてください。